

NEW

UNIVERSITY OF TOYAMA



SCHOOL OF MEDICINE

地域枠への道しるべ

～あなたの疑問にお答えします！
地域で輝く医師を目指すあなたへ～

富山大学地域枠、富山県特別枠が 気になるみなさん！

「入学もしていないのに、卒業後のことを言われたって、わからないよ！将来、医師になれるんだったら、受験して合格することを優先したいな！」

そう思うのは当然です。でも、ちょっと待って！医師の道は長くて、入学前に知っておくと安心できることがたくさんあります。

まず知りたい **3** つのポイント

地域枠って何？

地域の医療を支える医師を育成するプログラムです。

- ・ 一般枠と同じ医学教育を受けられます
- ・ 卒業後、一定期間地域医療に従事します
- ・ その期間は「医師としての成長期間」と重なります

将来のキャリアは？

手厚いサポートで着実に成長できます。

- ・ 専門医取得が可能
- ・ 研究活動にも参加できます
- ・ 大学院進学もサポートされます

地域医療って 田舎だけ？

いいえ、考え方が違います。

- ・ 「地域医療」= その地域の人たちの健康を守る医療
- ・ 大学病院も市内の診療所も、どちらも地域医療です
- ・ 場所ではなく、役割の話です

セクション 1 地域枠って何？基本のキホン

地域枠について「よく分からない」「制約が多そう」と不安に思いませんか？まずは基本的な仕組みや一般枠との違いを理解して、地域医療の本当の意味を知りましょう。あなたの疑問や心配事にお答えします！

一般枠と何が違うのですか？

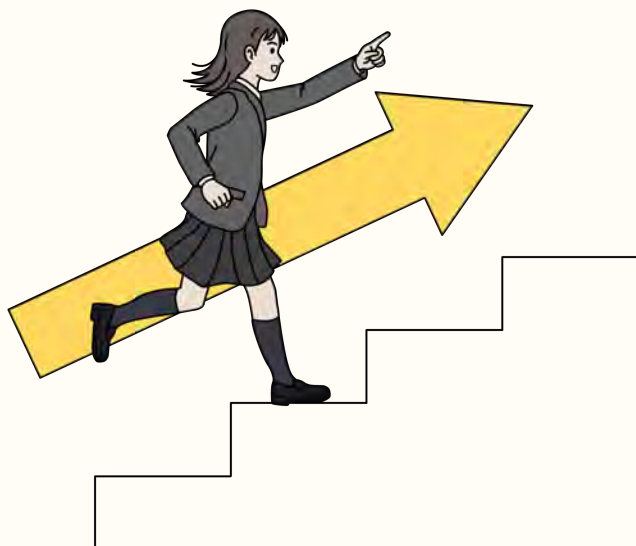
いわゆる地域枠は現在の日本の医療状況に対応した、地方国立大学では標準的な入試制度の一つです。入学後の大きな違いは、一定の期間、地域医療に従事することが前提となっています。

一般枠入学者のカリキュラムと何が違いますか？

基本的なカリキュラムは同じですが、地域医療に関するセミナーやワークショップが定期的に行われています。将来の地域医療従事者としての意識を高め、よりその重要性を認識できるように、実習の機会も設けられています。なお、このような企画には一般枠の学生も参加可能です。

地域医療とは何ですか？

地域住民の健康を総合的に支える医療活動のことです。大学病院での高度医療から診療所での一般診療、訪問診療、健康診断、予防医学活動まで幅広く含まれます。富山市内の病院も山間部の診療所も、どちらも地域医療の重要な担い手です。



地域医療とは、田舎で働くという意味ですか？

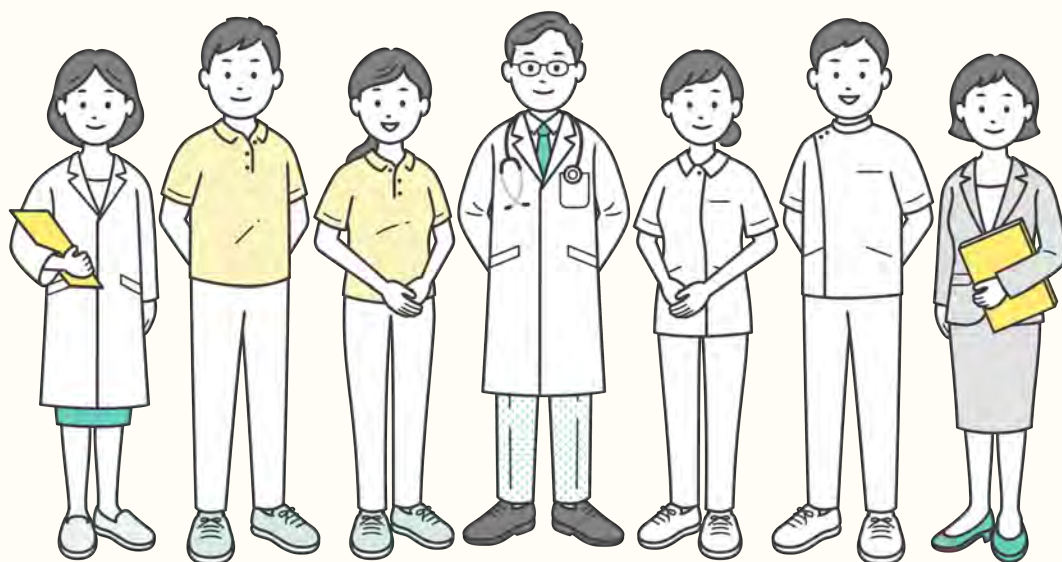
これは大きな誤解です。地域医療は場所ではなく「その地域の人たちの健康を守る医療」という考え方のことです。大学病院で最先端の治療を行うのも、市内の診療所で風邪の治療をするのも、どちらも地域医療です。患者さんと深い信頼関係を築けること、幅広い医療技術が身につくこと、地域の人々に直接感謝されることなど、やりがいの多い分野です。

富山県内ならびに同県隣接の地域とは何ですか？

富山大学附属病院の医局が医師派遣を行っている地域のことです。これには富山県内の全域はもちろん、上越や飛騨などの隣接県の一部地域も含まれます。医局のネットワークを通じて、これらの地域の医療機関との連携が確立されており、研修や勤務の機会が提供されています。地理的な近さだけでなく、医療連携の実績や教育体制が整っている地域が対象となっています。

医局とは何ですか？

大学病院の各診療科に設置された医師の組織で、教育、研究、診療を一体的に行う部門です。医局は所属する医師の研修プログラムの管理、関連病院への医師派遣、学術研究の推進、後進の指導などを担当しています。医師のキャリア形成において重要な役割を果たし、専門医取得のための研修計画や、地域の医療機関との人事交流を調整します。地域枠の医師にとって、医局は専門性を高めながら地域医療に貢献するための重要な支援組織となります。



専門はいつ決めるのですか？

医学部では、6年間の教育課程を通じてすべての診療科を学修し、実習を行います。最終的に初期研修医としてローテーションした後、後期研修（専門研修）に進む段階で専門分野を決定します。通常、医学部5～6年生の臨床実習や初期研修での経験を通じて専門分野への興味を深めていきます。

地域卒の同期や先輩との交流がありますか？

地域卒学生同士の交流会や、地域卒の先輩医師との懇談会が定期的に行われています。これにより、同じ志を持つ仲間とのネットワークを築き、将来のキャリアについて相談できる環境が整っています。



卒業後の定められている期間がすごく長く感じます。

確かに長く感じるかもしれませんが、実は医師としての基盤を形成するために必要な期間です。医学部6年＋初期研修2年＋後期研修3～5年で、さらに専門医として自信が持てるようになるまでまだ何年もかかります。地域卒の期間は、この医師養成期間とほぼ重なっており、地域で働きながら専門医を取得し、医師としての実力を身につける期間でもあります。

つまり、この「キャリア形成期間」を支えるのが、富山大学が主体となるか、富山県が主体となるかの違いで、入試枠が設けられています。また、富山県が主体となっても富山大学附属病院で研修することもできます。この期間は、むしろ地域医療を通じて幅広い医療技術と豊富な経験を積むことができる貴重な期間と言えます。

セクション 2 研修からキャリア形成まで ～医師への階段～

「地域枠だとキャリアに制限があるの？」そんな心配は無用です。研修制度から専門医取得、さらには海外経験まで、地域枠でも豊富なキャリアパスが用意されています。医師としての成長プロセスを詳しく解説します。

研修とは何ですか？

医師免許取得後に行う実地訓練のことです。診療を通じて、実際の医療現場で必要な知識・技術・態度を身につけるプログラムです。初期研修と後期研修に分かれており、医師として独立して診療を行うために必要不可欠な過程です。

研修プログラムとは何ですか？

研修医が体系的に医療技術と知識を修得できるよう組まれた教育カリキュラムです。各病院や大学が独自のプログラムを作成し、厚生労働省の認定を受けています。研修の到達目標、ローテーション科目、期間などが詳細に定められています。



初期研修とは何ですか？

医師免許取得後の最初の2年間に行う研修です。内科、外科、小児科、産婦人科、精神科、救急などの必修科目と選択科目をローテーションし、医師としての基本的な診療能力を身につけます。全ての医師が必ず受けなければならない研修です。

後期研修（専門研修）とは何ですか？

初期研修修了後に行う 3～5 年間の専門分野に特化した研修です。内科、外科、小児科、精神科など、自分が専門としたい診療科を選択し、その分野の専門医取得を目指します。専門研修プログラムに沿って体系的に学習します。

専門医とは何ですか？

特定の診療分野において十分な知識と経験を持つ医師として認定された資格です。日本専門医機構が認定する基本領域専門医（内科、外科、小児科など 19 領域）があり、後期研修を修了し、試験に合格することで取得できます。



サブスペシャリティとは何ですか？

基本領域専門医の資格取得後に、さらに細分化された専門分野の資格です。例えば、内科専門医取得後に循環器内科、消化器内科、呼吸器内科などの専門医を取得することができます。

たすき掛けとは何ですか？

初期研修において、大学病院と市中病院の両方で研修を行うシステムです。大学病院では高度医療や研究に触れ、市中病院では一般的な疾患の診療経験を積むことで、バランスの取れた医師を育成することを目的としています。

女性医師としてのキャリア形成は可能ですか？

近年、女性医師の割合は増加しており、出産・育児支援制度も充実してきています。短時間勤務制度やワークシェアリングなど、ライフステージに応じた働き方が可能です。

県外でキャリアを積むことができますか？

地域枠の約束期間は基本的に指定地域での勤務が必要ですが、プログラムによっては県外の研修も準備されています。入学すると、定期的な面談やセミナーなどを通して、いろいろなプログラムがわかるようになってきます。

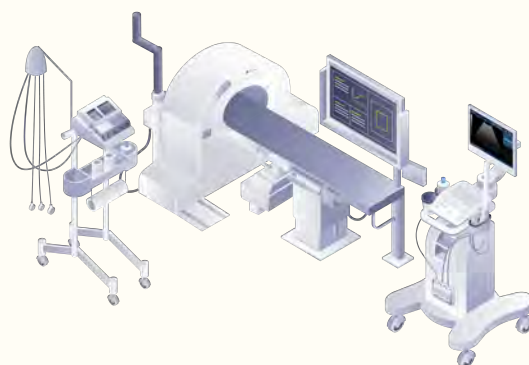
海外でキャリアを積むことができますか？

国際学会に参加したり、短期の研修で、国際的な視野を広げる機会は確保されています。地域枠の約束期間として数えられるかは、目的や期間などで個別に判断されます。また、臨床や研究で、数年留学する場合には、約束期間には含まれない可能性があります。戻ってきたあとに、残りの約束期間を活かして、学んできたことを富山や周囲の人たちに還元してください。



先進的な医療を学ぶことができますか？

大学病院や高次医療機関では最新の医療技術や治療法を学ぶ機会があります。また、学会参加や研修会への参加を通じて、常に最新の医学知識を修得することができます。



卒業後に研究することができますか？

医師として勤務しながら臨床研究に参加したり、大学院に進学して本格的な研究に取り組むことが可能です。地域医療に従事しながらも、臨床研究や疫学研究などに参加する機会があります。



卒業後に学会に行くことができますか？

学会参加は医師の継続的な学習の重要な一部であり、勤務先の理解を得て参加することができます。最新の医学知識の修得や研究発表の機会として積極的に推奨されています。



大学院について教えてください。

大学院は医師として研究能力を身につけ、博士（はくし）号を取得する4年間の課程です。条件を満たすと3年間で終わることもできます。研究を通じて、医学の発展に貢献する知識と技術を学びます。研究テーマは幅広く選択でき、将来的に大学教員や研究者を目指す道も開かれています。博士号取得により、より高度な医療や教育に携わる機会が広がります。地域枠の定められた期間中でも、勤務を継続しながら大学院に進学することが可能です。

大きな病院で働くことができますか？

地域の基幹病院や大学病院など、規模の大きな医療機関での勤務も可能です。地域医療には様々な規模の医療機関が含まれており、キャリアに応じて適切な職場を選択できます。

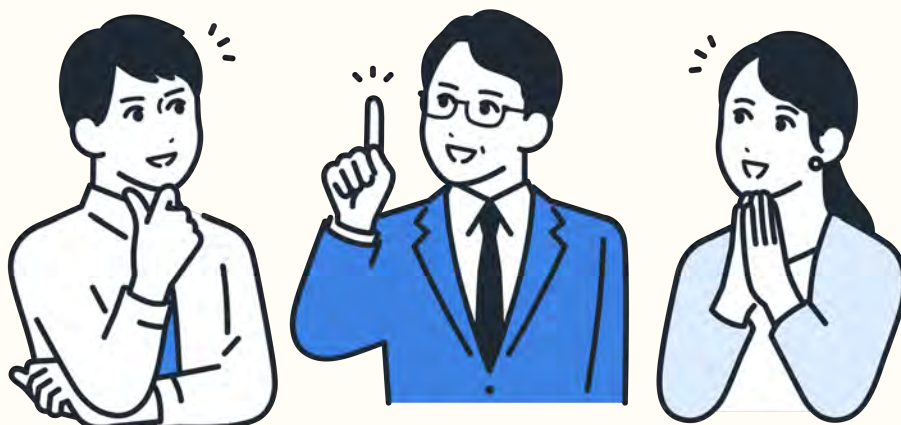
関連病院とは何ですか？

大学病院と連携関係にある病院のことです。人事交流、教育研修、診療支援などで協力関係を築いており、研修医や医師の派遣・受け入れを行っています。地域医療ネットワークの重要な構成要素です。

富山大学附属病院の研修プログラムの長所は何ですか？

ここは自信があって、ユニークというところだけに絞って列挙します。在学中には、先輩やセミナーなどを通してもっと知ることができます。

- 高度医療と地域医療の両方を経験できるバランスの良いプログラム
- 豊富な症例数と多様な疾患への対応経験
- 指導医による手厚いサポート体制
- 研究活動への参加機会
- 県内の関連病院だけでなく、富山県近隣の医療機関、北海道から沖縄までの医療機関との連携による幅広い研修環境



セクション 3 将来の可能性を広げよう ～あなたの夢を叶えるために～

卒業後の可能性は無限大！地域枠の定められた期間でキャリアを積み重ね、開業、研究、教育はもちろん、行政や国際的な活動まで、様々な道が開かれています。あなたの将来の選択肢の一部をご紹介します！

開業することができますか？

可能です。専門医を取得後に地域の基幹病院や大学病院での診療経験を重ねてから開業される場合がほとんどです。地域医療の経験を活かして、地域に根ざしたクリニックを開設する先輩医師も多くいます。一般的には、地域枠の定められた期間よりもはるかに長い年数が経過した頃になります。



研究者になることができますか？

大学院での研究経験を積み、博士号取得後に大学や研究機関での研究職に就くことが可能です。臨床医として働きながら研究を継続する道もあります。地域枠の定められた期間の後には、本格的な研究者の道にすすむこともできます。



教員になることができますか？

大学医学部や看護学校などの教育機関で教員として働くこともできます。臨床経験と研究実績を積むことで、教育者としてのキャリアも選択肢となります。地域医療の実践経験は教育現場でも高く評価されます。後進の育成に携わりながら、地域医療の発展に貢献できます。

行政の仕事に関われますか？

保健所や県庁の医療政策部門、厚生労働省で活躍する医師は多数います。現場経験を活かした政策立案や、地域の健康課題解決に取り組むことができます。医師としての専門性と行政のスキルを両立できる魅力的なキャリアです。

国際的に活躍できますか？

定められた期間満了後は海外での研究や臨床活動、JICA 派遣、WHO 等での国際機関での活動も可能です。また、富山を拠点として国際的な研究や医療活動を展開し、世界から注目される取り組みを行うことも大歓迎です。地域医療の経験とグローバルな視点を融合させた活躍が期待されます。

